



オーナーももつ 立ち本

3000本を超える!

瀬戸内トラスト実施場所 *1990年10月現在

3田川の水源を守るトラスト 竹仁の水を守る会 (広島県賀茂郡福富町) 500本 冬は暖かく夏涼しい「乳とハチミツの里」を子孫に伝えようと、ゴルフ場計画にストップをかける。沼田川の水は愛媛県の島々にも送られている。	三和町立木トラスト 水と命を守る会 (広島県双三郡三和町) 500本 「きのこの里」に300haのゴルフ場が、なだらかな山並み、ゆったりと流れる川。この昔ながらの農村風景を守って、地権者の団結は固い。	安住権を確立する新見トラスト 上市地区自然環境を守る会 (岡山県新見市) 10000本 300年先の木を育てている高梁川原流の人々。人には「安心して住む権利があるはず」と、生態系を守る大切さを訴え、ゴルフ場建設に反対!
河戸沼田川水系トラスト 河戸沼田川水系を守る会 (広島県賀茂郡河内町) 1000本 「二段の滝とおいしい」が河戸の自慢。自らの恵みがあふれるこの里を、沼田川水系全体の問題としてとらえ、ゴルフ場から守ろうと活動中。	誰故草の里を守るトラスト 水と緑と命を守る会 (広島県甲奴郡上下町) 1000本 芦田川の源流の町。片栗の花、誰故草が咲く静かな森の町にゴルフ場計画が。芦田川下りなどのイベントを盛り込んで、反対運動を展開している。	歌仙草と野山の島トラスト 弓削の自然を考える会 (愛媛県越智郡弓削町) 10000本 向かいの島と合わせて18ホール「船巡りゴルフコース」が計画されている。弓削島には中世からの史跡があとに残っている。女性パワーで反対!
丹波の森を守ろうトラスト 市島の自然と水を守る会 (兵庫県赤上郡市島町) 1000本 有機農業の里を守ろうという消費者と「土地を大切にしていきたい」という生産者のつながりから生まれたトラスト。栗の木トラストも計画している。	中島みかん・いよかんトラスト 中島町有機農業研究会 (愛媛県温泉郡中島町) みかん200本 いよかん200本 全島がリゾートの重点地区に指定されている中島町。無農薬・有機栽培のみかんまたはいよかんを年に1回、宅配便で届ける。2年契約で6000円。	黒沢湿原の自然を守るトラスト 黒沢湿原の自然を考える会 (徳島県三好郡池田町) 1000本 四国で唯一の山頂湿原。サギソウ、ヒツジソウなどの珍しい草や小動物が姿を見せてくれる。マツタケも豊富で、安くおいしいマツタケそば・うどんは有名。

12月1日 イレブンにデビュー

どんぶり山トラスト

— 井上の未来を考える会 —
(香川県木田郡 三木町)

明石大橋と高速道路の開通を見越したゴルフ場計画、この辺りの地価は1年で倍にも。「都会のむけ主義に人間も自然も亡びつつある。田舎の人間らしい暮らしを守りたい。人間のための自然保護ではなく、鳥や虫たちを守る運動でありたい」と代表の三木さん。心優しい山の男たちの運動である。



①イレブンの 立木契約本数が 25500本になり、地権者の方々は、約60名に達しました。

②木トラストの運動は、京都や九州各地で、とりくみが検討されています。事務局も、各地に出かけて、うれしい悲鳴です。

③一十も、環瀬戸内海から、中部地方、関東、東北地方まで広がっています。

イギリス、アメリカにもオーナーができました。これで開発企業は、海外まで「同意書」とりにゆかねばならなくなりました。海外の友だちにも呼びかけて下さい。

弓削島でゴルフ場問題を問う町長選挙

○平山久子さんは「トラストイレブン」の名付け親。その親が告示の2日前立候補を決心。7人の女性パワーが炸裂。同時に「自然を志す会」メンバーの田中祐子も町議に当選。「1153票は私がかしかりました」と。

○弓削島のトラストは現在600本を超えている。「この運動をしていなかったら、推進派の激しい動きの中で、依りどころを失っていた」と地元静子さん。トラストイレブンの旗をもち選挙の街頭に立ちました。

134 朝日

弓削町長選 振り返って

島に因習批判の風吹いた

恩赦・開発に猛反発

敗れても平山さん満足

「島に風が吹いた」。三日に即日開票された越前町長選は、まさにこの言葉がびつたりの選挙になった。当選した木下良一さん(愛)の得票が千六百六票だったのに対し、新顔の海船会社員平山和昭さん(自)は、自然保護グループの手づくり選挙で千五百五十三票を獲得。その差四百五十三票まで追いつめた。恩赦選挙、リゾート開発への不信などを背景にした「住民の小さな反乱」は、予想以上の大きな反響を呼んだ。

響反な大きな乱反小

一夜明けた三日、前日のあんなに晴れ上がった。平山さん夫婦は早朝、島の二つのフェリー乗り場に出た。手に「ご声援ありがとうございます」と書いた紙を持つ。対岸の因島市などへ働きに出る人たちに、ペコリと頭を下げた。

選挙戦がスタートした時と同じ港の光景だが、町民の反応は一八〇度変わった。選挙戦初日、島の人は立ち避けるように足早に、フェリーに乗り込んでいた。期間中もずっと、周囲に気兼ねするように、押し黙っていた。その人たちが、いまは笑顔で「ごめんなさん」とおぼろげに「古い因習に縛られた島に、新しい風が吹いている」。平山

さんには、こう実感した。「恩赦狙いで辞職し、再び選挙に立候補する」という倫理観の無ささについて、町民はどろどろ思っているのか。純粹な批判票を知りたかった」といのが、平山さんの立候補の動機。それを告げる際、このままでは無投票で当選を許してしまう」と出馬を決断した。だから最初は「告示の日以降は、因島市の造船所に働きに行き、選挙運動もしない」予定だった。

平山さんの予定を狂わせたのが、支援を決めた一言削町の自然を志す会(地元静子代表の女性たち)だった。島の自然を破壊するゴルフ場建設に反対し、立ち木トラスト運動を進めている。「この選挙で、ゴルフ場建設の是非を問いたい。その

開票の夜、平山さんの自宅兼選挙事務所は、喜び、うれし泣きの女性たちでにぎやかだった。町長選と同時にあった町議補選で田中祐子さんの当選祝いも兼ねる。「一言削町の自然を志す会」メンバーが、平山さん夫婦に花束を贈り、さらに平山さん夫婦が地元さんらに花束の花束を贈った。まるで祝勝会のようなだった。

五日間の選挙戦。町民の関心が高まるのを肌で感じた。平山さんは振返りの「素人集団でもやれば出来るぞ」と思った。当初、六〇％位と思っていた投票率も八〇％近くまで伸び、それだけで満足している。隘口の多い島で、東進されたもどなく投票してくれた。島の選挙で町民は今回初めて、しがらみから解放された正風を「話した」。

選挙の主な出費は、はがき代、印刷費込みで九万八千三百円、手書きのポスター二十一枚を画びよら代など二千二百一十円。手弁当の選挙が、島民の選挙を誇りつつある。



選挙の開票結果、花束を抱えて喜ぶ平山さん(中央)。〓〓 白晝、越前町前町主の自宅で

立ち木トラストぐんぐん生長

1/29

瀬戸内 ゴルフ場阻止へ2500本

全国から購入申し込み

ゴルフ場などリゾート開発に反対する十一府県の住民グループ「環瀬戸内海会議」(三十八団体、阿部悦子代表)が進めている「立ち木トラスト運動」に、全国の人たちから立ち木購入の申し込みが相次いでいる。建設予定地にある反対地権者の立ち木を買ってもらい、木を切らせないことで都市と山村が連帯を強め、建設を阻止するのが目的。開始から二月余りで二千五百本を超える申し込みがあり、それぞれの木にオーナーの名札がつるされた。

中国山地のふもと広島県双三 十珍三十六ホール。「トラス 二カ所、徳島、兵庫各一カ所の郡三和町数名の丘陵地の雑木 ト」による反対運動の出現で、ゴルフ場予定地が対象、香川県林。アカマツなどの幹に、「私 業者側は「町の誘致で進出した木を切るべからず」などと書 のに、撤退の可能性も」と話 いた木製の名札が縛り付けられ し、町企画振興課の林博之課長 ている。ゴルフ場予定地全体で は「反対が多数になつては納得 は不可能」と認める。

建設に反対する「三和町水 玉井代表は「いやがらせの電 と命を守る会」(玉井泰子代 話などもあるが、都会の人の支 表)の地権者十人が、「会議」 えで心強い」と意気盛んだ。

同町内のゴルフ場計画は、大 立ち木トラストは、今年六月 に決定した同会議が、九月中旬 阪市の開発業者がつくる二百七 から始めた。広島四カ所、愛媛 十本を含め、五十本を三十人の 社員の名義にした。「自然も大 切。社員旅行で訪ねてみたいで すね」という。



所有者の名札を手に「多くの人の支援が支え」と話す玉井泰子さん

|| 広島県双三郡三和町で

問い合わせは武井多佳子さん
(0899・24・7274)
か西武節子さん(0899・7
9・1657)へ。

トラストイブン各地から



● 沼田川水源を守るトラスト

「まつたけトラスト」として、流域の人たちへのみ呼びかけ しいトラストが、地権者も増え、イブンとして広域 的に始まる。竹仁の水は「釜の中の水」!

● 丹波の森を守るトラスト

地権者9割以上の同意書を業者に握られ、少規 模で始めたトラストだったが、この運動を境にして 風向きが変わり始めている。同調する地権者も 3人から7人に増え、町長も徹退を言い始めている。

● 誰故草の里を守るトラスト

11月23日 家族つれ約100人で木のせせりい、山火 巣箱かけなどの後、矢野温泉で交流。若い夫婦の 参加も多し。活気にあふれたトラストにナリや。

● 安住権を確立する新見トラスト

9月のトラスト発表以来、地権者、支援者 などの準備を進めていたが、近く、年内

には、札かけを始め予定。是非新見の 木をとお申しみのあった方々(100余人)長い 間、お待ちせいでしました。

● 中島 みかんイコトラスト

今年は、多かつた台風の影響で、みかんは 不作の様子。従つて年内でみかんの申し込み は打ち切り。来年からはみかんからになりま す。イコトは、^{申し込み}契約本数を増やしまし たので、受付けています。(付録)20歳半 ばの泉さん(生産者)の息子さん。ハンサムの上に 誠実、気骨アリという好青年。花嫁募集!

● 河内沼田川水系トラスト

11月3日、札かけ開始。好調に札かけが 埋まっている。「このトラストを始め、今お 聞に之にあらた、地元河内町の人たち の、開発反対の声が届くようにおつて。

町の人達のオーナーへの申しこみも心強い。
と、これまで反対運動を続けてきた人たち。
これを機に町の人たちとの交流も始まりそう。
沼田川を愛する人たちの結束は堅い。

●黒沢湿原の自然を守るトラスト
「黒沢湿原の自然を考える会」では、会報

「黒沢だまり」を、三好郡の一万6千の全世帯に配布。
土地の買い取りや借地、立ち木トラストによるゴルフ場開発阻止ラインをつくったことを発表。「これでゴルフ場計画は中止にもちこめる」と自信を深める代表の工藤政幸さん。ゴルフ場阻止の為には何にでもとりくむ」と力強い運動を展開中。



こんなメッセージが来ておられます。



- この木にこめた地球への想い。(京都市森)
- 神々宿る。(松山市 大野)
- この木は動物たちに残します。(いづみ松田)
- 切ったら泣くから。(静岡県 浅野)
- 自然はいのち。森は母親。木は兄弟。私の家がこの木通りますように。(西条市 有重)
- 水を清め貯える木につき切るな。(広島市 大丸)
- 切れるものなら切ってみよ。(豊市 耕)
- 木の命を大切に。この木を切ることを禁ず。(東京都 南)
- 私の宝切るな。(尾崎市 井上)
- ゴルフの球よりミカンの球が好き。(広島市 清家)
- 子どもたちに残す木。(松山市 中川)
- 這棵树清句破伐。(神戸市 王)
- ボクたちが守っている木だよ。大切にしろ。(茨城市 神柳)
- 山荒し。農薬うすまくゴルフ場(埼玉県 田沼)
- 私の命を断たないでね。(今治市 村尾)
- 小さな木の私にもいのちがあるんです。(盛岡市 佐々木)
- 切れば切る。(松山市 田村)
- 大きなりっぱな木に育って。いつまでも生きつづけたい。(静岡県 星谷 竹田)
- この木を切るな。この木は地球の未来。(ハーゲン 松山市)
- 俺はみかんだけオ。(松山市)
- この木から孫達の育つ水が出る。(香川県 大路)
- この木を切れば犯罪(兵庫県 色)
- この木が瀬戸内の自然と共に生きられますように。(神戸市 宮脇)
- 自然と自然につきあいでできる人間社会をめざそう。(岩国市 宮田)
- この木のいのちは。私の思いを未来へつなぐいのちです。(広島市 佐々木)
- (その他多数)

日本ではじめてのゴルフ場裁判はじまる。

山岡町で

—— 支援しよう! ——

「立木トラスト運動」発祥の地山岡町で、瀬戸内トラストの尊き手でもある南修二さんたちが、山岡町のゴルフ場計画の白紙撤回を求めたための裁判を起こされました。12月5日 才1回の口頭弁論が、岐阜地裁で行われ、事務局から船木が出席しました。この裁判の争点は、

1. 開発業者が共有林の委員会と勝手に結んだ土地の賃貸借契約は無効、
2. この土地の所有者の立ち木権に於、木の無断伐採を禁止する請求、
3. ゴルフ場の公害によって生じる周辺住民や低農薬米生産者の建設差止め請求、

この日、原告の上記訴えに対して、被告(開発側)弁護士は、「環境権や自然享有権といった権利は抽象的であり司法判断に値しない。従って国や地方の行政の政策的判断にお任せべき」と主張。裁判長に訴えを却下するよう求めました。今後の注目されます。

連絡先: ゴルフ場裁判を支える会、恵那市長島町永田16-4森岡 ⁰⁵⁷³(26)4643 (夜間のみ)